

教育会だより No.3

〈 定期総集会特集 〉

諏訪教育会本年度テーマ

より深め、より開き、より据える ～前へ 新たな未来に繋げて～

5月13日(土)、諏訪市文化センターにおいて、令和5年度 諏訪教育会定期総集会在開催されました。5月8日から新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、4年ぶりに人数制限のない全会員が参集しての総集会在開催することができました。多くの会員の皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度は、音楽委員会の演奏発表の他、「理科委員会」「福祉教育委員会」の2つの委員会による会員発表が行われました。多くの会員が会場で直接発表を聞くことができ、本年度サブテーマ「前へ 新たな未来に繋げて」を具現化する研修となりました。 ※定期総集会的詳しい様子については会誌や会報、諏訪教育会ホームページ等に掲載されますのでご覧ください。

◇会長挨拶(抜粋)◇ 令和5年度 諏訪教育会長 中澤 隆一

風薫る5月。諏訪の山々の緑が深まりを見せ始める季節となりました。明治15年に設立された「諏訪教育会」も、年を重ねるごとにその活動を深め、今年度は、141年目を迎えました。

昨年度の「諏訪教育会定期総集会在」は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、様々な制限のある中での3年ぶりの開催でしたが、今年度は、人数制限のない中での開催の運びとなりました。

本会の開催にあたり、ご尽力いただきました信濃教育会常務理事・事務局次長 塩野入幸隆 様、諏訪市教育長 三輪 晋一 様、前諏訪教育会長 溝口 純永 様にご臨席を賜り、ここに「令和5年度 諏訪教育会 定期総集会在」を開催できますこと、誠に喜ばしく、心より感謝申し上げます。本年度の諏訪教育会の出発にあたり、こうして、諸先輩の皆様方にご指導、ご助言をいただけますことに、会員を代表し、厚く御礼申し上げます。一方、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のために、本来ならばご来賓としてお招きすべき多くの諸先輩方、お世話になっている皆様、関係者の皆様にご臨席いただけなかったことは、会長として痛恨の極みであり、この場をお借りして心よりお詫び申し上げます。

さて、ここまで数々の歩みを刻んできた諏訪教育会は、自己、教育、人間のあり方を問い続ける中で、いつでもその時代の課題に真摯に向き合い、その解決に向けて誠意と熱意をもって取り組んで来られた先輩の方々によって発展の道を進んでまいりました。

そして、その歩みの中で、諸先輩は、未来の学びまで見据えて、多くのものを創り出してくださいました。「諏訪教育会100年の歩み」「諏訪教育会140周年沿革史」という記念誌、先ほどこの会場で高らかに歌い上げられた「諏訪教育会百周年記念賛歌 今諏訪」、そして、諏訪教育博物館は、創立100周年の時に創られたものです。こうした書籍や歌にふれたり、博物館を訪れたりするを通して、諸先輩のたゆまぬ探究心や諏訪教育会に対する熱い思いを感じ取り、その心を、今度は、私達が、新たな未来へと繋いでいかなければなりません。

今年度の諏訪教育会テーマは「より深め、より開き、より据える」を継続させ、サブテーマとして「前へ 新たな未来に繋げて」を位置づけました。諏訪教育会は、昨年度、創立140周年を迎えました。今年度は、141年目の年となります。これまで諸先輩方が築き上げてきていただいた伝統を基に、更に「前へ」進めていく一年となります。また、新型コロナウイルス感染症が、5月8日から5類に引き下げられました。これまで3年間の様々な制限が緩和され、中止や縮小を余儀なくされてきた各事業も徐々に実施できるようになっていきます。コロナ禍以前の事業を見直ししながら、「前へ」進めていく1年となります。コロナ禍以前の各事業をそのまま踏襲するのではなく、「前へ」進めていくために、各部委員会で各事業内容の見直しをしつつ、「新たな未来へ繋げて」いきたいと考えております。

諏訪教育会は、これまでも、そしてこれからも、自ら求めて高め合おうとする仲間が集い、子どもたちや地域、自分自身の未来を見据えて共に学び合う職能団体であることを確かめ合い、確固たるものにする1年にしたいと願っています。そのために、先生方の主体的な学びを支える活動を一層充実させ、展開してまいりたいと考えております。

お話しさせていただいたテーマを受けた、今年度の具体的な活動としていくつか申し上げます。

第379回諏訪季節大学会は、10月18日に信州大学特任教授の小平 奈緒 先生を講師としてお迎えして開催いたします。茅野市出身の平昌オリンピックスピードスケート金メダリストの小平先生のご講演に、ぜひ多くの皆様のご参加をお願い致します。

また、昨年度までと同様、諏訪教育博物館を軸にした活動を大事に考えております。教職員や子ども、地域の皆さんに、その良さを実感し、「ぜひ利用してみよう」との思いをもっていただけるよう、企画を工夫するとともに、会員の皆様の協力のもとで内に開き、外に開くキーステーションにしていきたいと思っております。

これらを全会員で共有しながら、令和5年度の諏訪教育会の活動を全員の力を結集して、「前へ 新たな未来に繋げて」いきたいと思います。

結びに、本日の定期総集会在は、限られた時間の中ではありますが、お集まりいただいた会員の皆様にとって、共に学び合い、意義のある総集会在となることを祈念して、挨拶いたします。ありがとうございました。



全員合唱

『今、諏訪』

指揮とピアノ伴奏に合わせ、ステージ上の諏訪教育会合唱団と会場にいる全会員とで、4年ぶりに「今、諏訪」を歌うことができました。

音楽発表

『翼をください』『地球星歌』『天球図』

諏訪音楽教育研究会会員を中心とした諏訪教育会合唱団が、ステージで3曲を発表しました。美しいハーモニーと力強い歌声が、ホールに響き渡りました。お忙しい中で練習を進め、すばらしい歌声を披露して下さった合唱団の皆様、ありがとうございました。



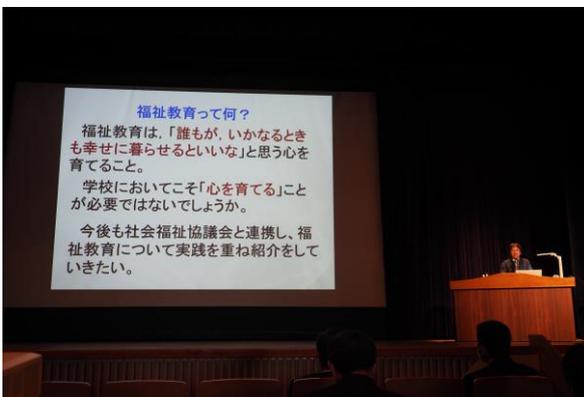
理科委員会（教科等指導研究部）

『科学的な見方・考え方を広め、主体的・対話的に学びを深めていく授業をめざして』

高校入試の問題を授業で扱うことで、生徒が身近な果実のつくりについて興味関心をもって追究した実践。教科横断的な視点で単元配列や展開を工夫することで、算数の知識・技能が理科の学習に活用できることを児童が実感できた実践など、理科委員による優れた実践発表から、科学的な見方・考え方を広めるとはどういうことか考えることができました。



福祉教育委員会（専門部）



『福祉教育って何?』

福祉教育は、「誰もが、いかなるときも幸せに暮らせるといいな」と思う心を育てること。ユニバーサルデザインについて考える授業、障がいのある方と交流する授業など、教師のちょっとした工夫や言葉がけで、子どもたちが、身近にあるものや、いろいろな人に対する見方や意識を変え、新たな見方や意識を育てていった実践などから、福祉教育の大切さについて改めて考えることができました。また、専門的な視点から社協の方と連携した授業づくりを進める有効性も実感することができました。

4年ぶりに人数制限なしでの参集による総集会が実現しました。久しぶりに会う会員同士の会話ははずみ、活気のある総集会となりました。改めて、参集して研修に取り組む良さ・価値を実感することができました。

